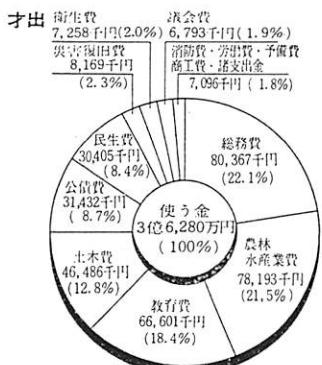
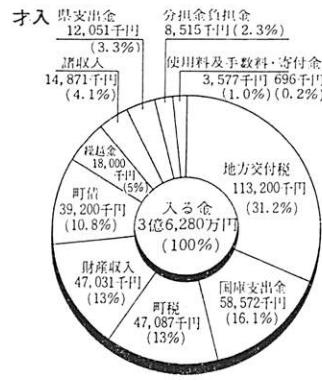


## 3 昭和42年度予算の状況

## (1) 一般会計

昭和42年度当初予算は、総額3億6,280万円で昭和41年度当初予算に比し、1億1,360万円45.6%の増加となつております。

これは、山村振興事業、造林事業、学校建築費および総務費などの歳出増加が主なもので、財源の主なものは、国庫支出金、財産収入、地方交付税、町債の増加と繰越金などです。



## (2) 特別会計

特別会計は、国民健康保険事業勘定および直診勘定ですが、それぞれの状況は次のとおりです。

## (3) 事業勘定

## 歳入

科 目	予 算 额	構成比%
国民健康保険税	14,468	29.1
使用料及手数料	15	0.2
国庫支出金	29,817	60.0
県支出金	129	0.3
財産収入	1	0.0
繰越金	5,199	10.5
諸収入	28	0.1
歳入合計	49,657	100.0

## (4) 直診勘定

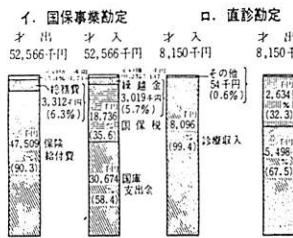
## 歳入

科 目	予 算 额	構成比%
診療収入	6,469	84.9
使用料及手数料	18	0.2
総入金	645	8.5
総越金	455	6.0
諸収入	33	0.4
歳入合計	7,620	100.0

## (2) 特別会計

## 国民健康保険事業勘定

国民健康保険は、事業勘定52,566千円、直診勘定8,150千円で昨年に比し、事業勘定で6,066千円、直診勘定で1,190千円の増加で夫々の歳出歳出の各科目の内容は表のとおりであります。



## 2. 基金等

## 1. 土地建物

区分	種 别	土地(面積)	建物(坪数)	種類	額又は金額	備 考
役場・支所関係	10,188.58	3,891.92	株券	1,700円	出捐金	900,000円
学校・公民館	131,602.53	28,878.39	出資金	3,079,500	出捐金	
公営住宅	2,148.76	1,187.79	債券	1,821,000	出資金	
その他	23,399.06	2,562.32	預金	536,930	出資金	
小計	167,338.93	36,520.42	基 金	500,000	出資金	
計	5,939.130	-	計	5,939.130	出資金	

## 5 町債の状況

町債は、建設事業の施行にあたり多額の財源を必要としますので、その財源を一時に捻出することを避け長期間にわたり負担しようとするもので長期の借入金です。

41年度の町債発行総額は、5,100万円で、林道整備事業140万円、道路整備事業500万円、教育施設整備事業1,690万円、へん地対策事業120万円、災害復旧事業760

万円、公有林整備事業1,100万円、減税補助金380万円、一般補助事業410万円となつております。

昭和42年3月31日現在の町債現在高は2億56,277千円となつておらず、その内容は普通事業債で1億59,052千円、災害復旧事業債で85,555千円で、減税補助金760万円です。

## 6月の税金は

## 町民税

## 国保税

## (1期分)

## 納期限

6月30日



No. 136

昭和42年6月15日

発行所 德地町役場

印刷所 今澄印刷所

## 財政状況の公表

— 285 —

## 1. 予算の推移

## (1) 一般会計

(単位・千円)

年度	当初予算	最終予算	増 減	対前年増 加率 %
34	90,500	134,596	44,096	—
35	142,024	220,425	78,401	63.8
36	214,500	298,200	83,700	35.3
37	193,170	262,300	69,130	△ 12.0
38	197,000	297,460	100,460	13.4
39	240,500	300,500	60,000	1.0
40	269,300	314,000	45,000	4.5
41	249,200	363,660	114,460	15.8

## (2) 国保事業勘定

(単位・千円)

年度	当初予算	最終予算	増 減	前年 对 增 加率 %
34	19,117	20,284	1,167	—
35	20,881	20,490	△ 391	1.0
36	20,500	21,720	1,120	6.0
37	24,870	24,250	△ 620	11.6
38	26,250	27,870	1,620	14.9
39	29,280	37,630	8,350	35.0
40	41,300	44,625	3,325	18.6
41	46,500	49,657	3,157	11.3

## 2. 昭和41年度最終予算の状況

## (1) 一般会計

昭和41年度最終予算是総額で、3億6,366万円となりました、これは前年度に比し、4,966万円の増加です。歳出の主なものは、学校整備、道路条件の整備、山村振興事業、災害復旧、公有林整備などの事業費です。費目別の状況は、次の表のとおりです。

## (2) 歳出の状況

科 目	最終予算額	構成比%
町 税	45,895	12.7
特例交付金	2,417	0.7
地方交付税	117,226	32.2
分担金及負担金	8,606	2.4
使用料及手数料	3,411	0.9
国庫支出金	57,943	15.9
県支出金	15,119	4.2
財産収入	25,580	7.0
繰越金	120	—
諸収入	26,854	7.4
町債	9,889	2.7
借入金	50,600	13.9
歳入合計	363,660	100.0

## (3) 国保直診勘定

(単位・千円)

年度	当初予算	最終予算	増 減	対前年増 加率 %
34	6,891	7,315	424	—
35	5,508	6,255	747	△ 14.5
36	5,930	5,960	30	△ 4.7
37	6,755	8,325	1,570	39.7
38	7,255	8,900	1,645	6.9
39	8,300	6,973	△ 1,327	△ 21.7
40	6,200	6,752	552	△ 3.2
41	6,960	7,620	660	12.9

## 町税の状況(41年度)

(単位・千円)

科 目	予 算 額	構成比%	住民1人当り額
町 民 税	9,090	19.8	640
固定資産税	22,995	50.1	1,620
軽自動車税	2,205	4.8	155
たばこ消費税	7,800	17.0	550
電気ガス税	1,700	3.7	120
木材引取税	2,100	4.6	148
鉱産税	5	—	—
計	45,895	100.0	3,253

この公表は、毎年二回町税の実情を報告するため行うものですが、今回の主な内容は、昭和三十四年度以降の予算規模の推移および昭和四十一年度、四十二年度の予算の状況、町有財産の状況などです。この地方財政は、「三削自治」といわれているように、きめ細かに地方税の運営を行つてきましたが、昭和四十二年度、地方税の増加の途をたどつており、年々増加の現状のようです。本町の財政状況は、財政需要は年々増加の途をたどつており、地方交付税の増加がわざわざ期待されます。

この公表は、毎年二回町税の実情を報告するため行うものですが、今回の主な内容は、昭和三十四年度以降の予算規模の推移および昭和四十一年度、四十二年度の予算の状況、町有財産の状況などです。この地方財政は、「三削自治」といわれているように、きめ細かに地方税の運営を行つてきましたが、昭和四十二年度、地方税の増加の途をたどつており、年々増加の現状のようです。本町の財政状況は、財政需要は年々増加の途をたどつており、地方交付税の増加がわざわざ期待されます。

税収は横ばい状態で、収入面での急速な好調は望めない現状です。私は、これら収支のすうう勢をは握ることで、健全な財政の維持向上を図り、財政の十分なる理解を得るために努力を傾注する所存であります。

この公表は、毎年二回町税の実情を報告するため行うものですが、今回の主な内容は、昭和三十四年度以降

